

価格.com「パソコン・タブレット端末」に関する調査結果を発表！

利用パソコンのOSは「Windows 7」が46.3%で最多。
最新版「Windows10」は15.3%にとどまる
タブレット端末では、「Android」52.2%、「iOS」は35.2%。
Windows勢が11.5%と伸ばす

カカクコムが運営する購買支援サイト「価格.com（カカドットコム）：<http://kakaku.com/>」では、「パソコン・タブレット端末」に関するアンケート調査を実施しました。使用しているデバイスやOS、利用目的などを中心に、スマートフォン、タブレット端末の普及によって、パソコン利用は減少しているのか、また、ユーザーのインターネット利用に変化はあったのかを探りました。今回は、結果を一部抜粋してお届けします。

【調査パネル】

調査エリア：全国

調査対象：価格.comID 登録ユーザー

調査方法：価格.com サイトでの Web アンケート調査

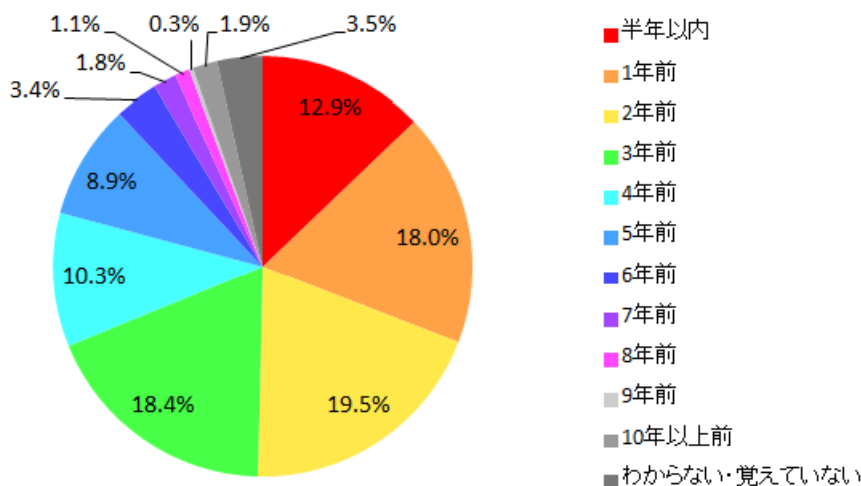
回答者数：3,701人

調査期間：2015年8月27日～2015年9月2日

調査実施機関：株式会社カカクコム ※四捨五入による端数処理のため合計が100%にならないことがあります。

<パソコン編>**パソコンの2年以内の新規購入割合は50.4%と、昨年より6.6ポイントダウン**

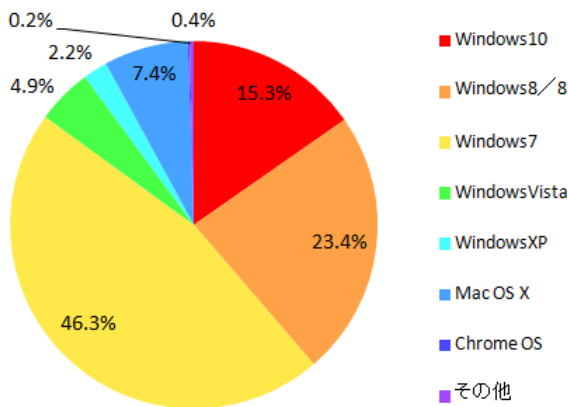
もっとも最近購入したパソコンの購入時期については、結果にバラつきが出たものの、比較的多かったのは「2年前」（19.5%）、「3年前」（18.4%）、「1年前」（18.0%）となり、[昨年調査の結果](#)と比較して、2年以内に新規購入した人の割合が57%から50.4%へと、6.6ポイント減っており、直近では買い換えをせず、3～4年前に購入したパソコンを使い続けている人が増加していることがわかります。

【所有しているパソコンの購入時期】

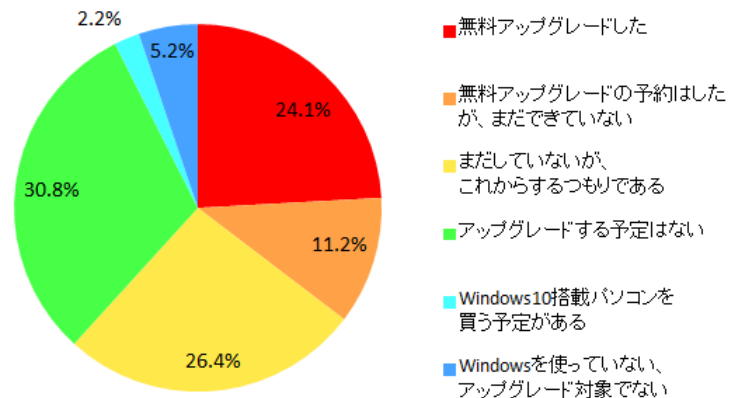
パソコンのOSは「Windows 7」(46.3%) が最多。最新版の「Windows10」は15.3%にとどまる

昨年調査の結果では、過半数を超える 56.4%の人が「Windows7」を使用していましたが、今回は約 10 ポイント減り、46.3%に。その減少分は、今年 8 月にリリースされたばかりの最新 OS「Windows10」(15.3%) への移行と考えられます。なお、Windows10 は、Windows7、Windows 8.1 のユーザーに対し、リリース後 1 年間に限り、無料のアップグレードを提供していますが、アップグレード対象者のうち約 4 割が「アップグレードしな／予約した」、約 3 割が「する予定」と答えており、関心の高さがうかがえる結果となりました。その一方で、メインで使用しているパソコンについては、15.3%のユーザーしかアップグレードをしておらず、アップグレードについては慎重になっている様子が見えます。

【 所有しているパソコンのOS 】



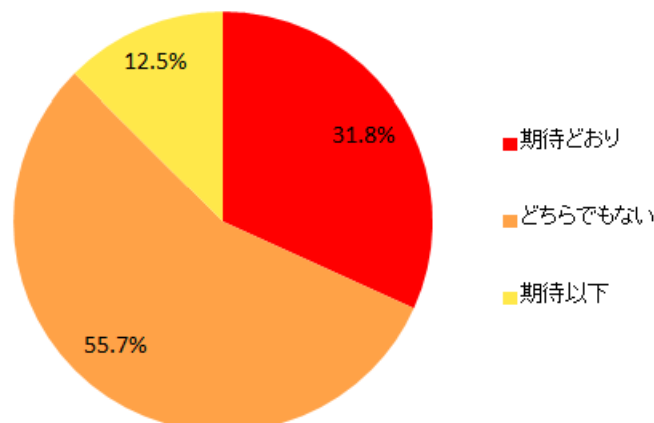
【 Windows10へのアップグレードの有無 】



Windows10 の使い勝手は、約 3 割が「期待どおり」と回答。

Windows10 の使い勝手については、約 3 割が「期待どおり」、半数以上が「どちらでもない」と回答していることから、リリースから日が浅く、まだ性能の善し悪しを見極める段階ではないという利用者心理がうかがえます。

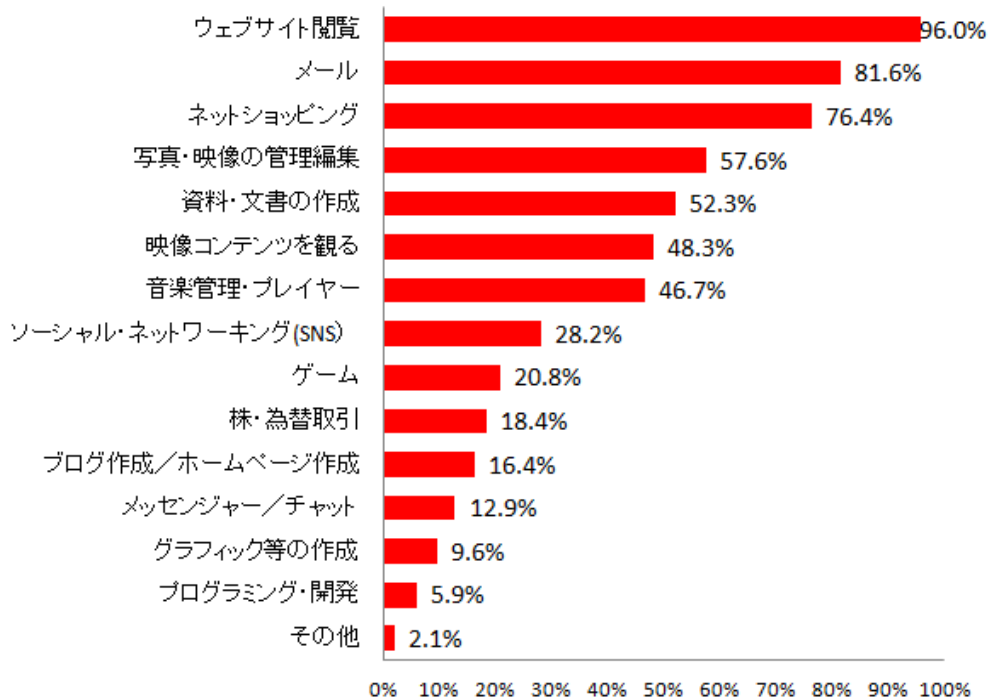
【 Windows10の使い勝手 】



パソコンの利用目的に大きな変化はないものの、各項目での利用率は大幅減

利用用途については、「ウェブサイト閲覧」(96.0%)がもっとも多く、次いで「メール」(81.6%)、「ネットショッピング」(76.4%)という結果に。[昨年調査の結果](#)とトップ3に変化はないものの、「メール」はマイナス13.9ポイント、「ネットショッピング」はマイナス17.4ポイントと、大きく数値を落としました。また、「資料・文書の作成」がマイナス29.3ポイント、「写真・映像の管理編集」がマイナス20.5ポイントなど、各項目で軒並み下がっていることが明らかになり、スマートフォンやタブレット端末の普及が要因として考えられます。

【所有しているパソコンの使い道（複数回答）】

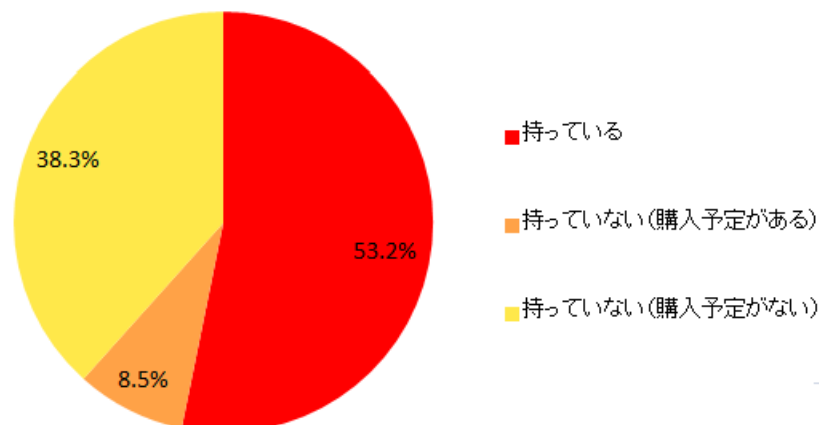


<タブレット端末編>

タブレットを回答者の53.2%が所有。昨年と比べ、6.6ポイントの増加

タブレット端末の所有率については、53.2%で、[昨年調査の結果\(46.6%\)](#)と比較すると、6.6ポイント増加していることがわかりました。

【タブレット端末の所有率】



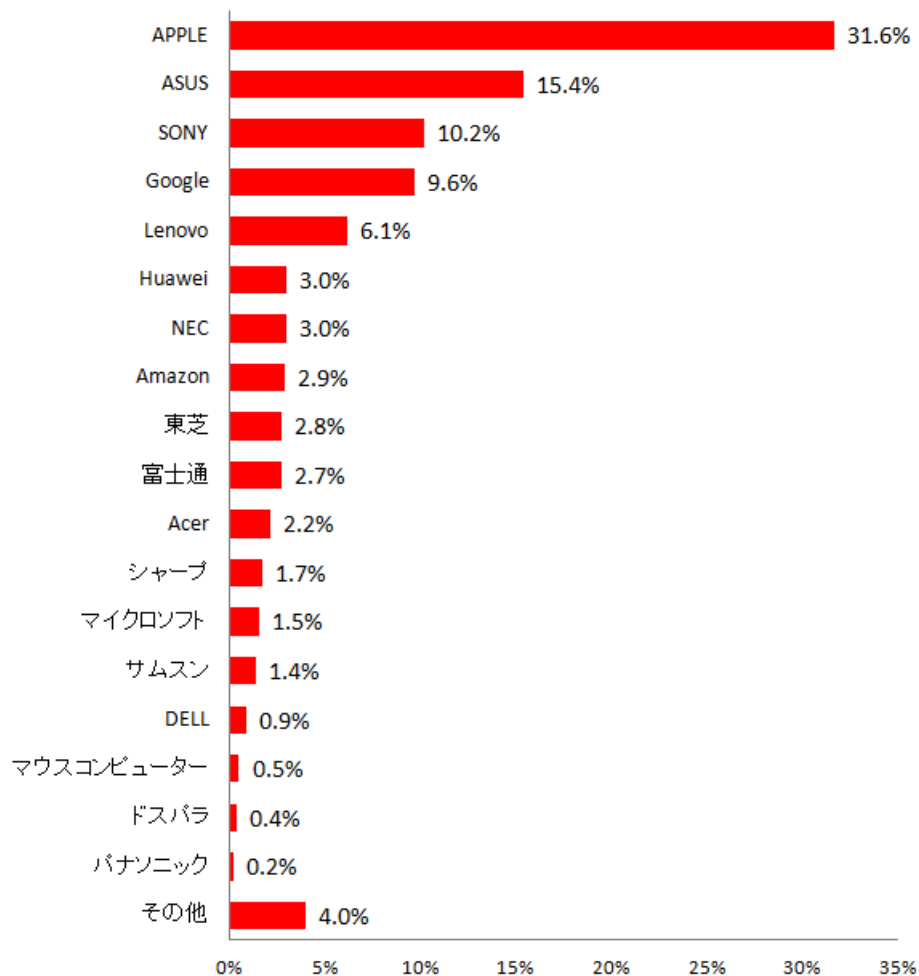
所有端末のメーカーは、「アップル」(31.6%) がトップも、昨年より5ポイントダウン。

Android 勢のトップは「ASUS」(15.4%)

引き続き「APPLE」が、31.6%と圧倒的な結果に。ただし、[昨年調査](#)が36.6%、[2013年8月の調査](#)が46.1%であったことを考えると、徐々に下がっています。

なお、Android 勢(一部 Windows 含む)では、「ASUS」が15.4%(+2.9ポイント)、「SONY」が10.2%(+2.4ポイント)と増加し、「Google」は9.6%で、1.5ポイント下げています。

【所有しているタブレット端末のメーカー】



◎今回調査の詳細な結果一覧はこちら

→ <http://kakaku.com/research/report/086/>

▼2014年8月調査の結果はこちら

→ <http://kakaku.com/research/report/079/>

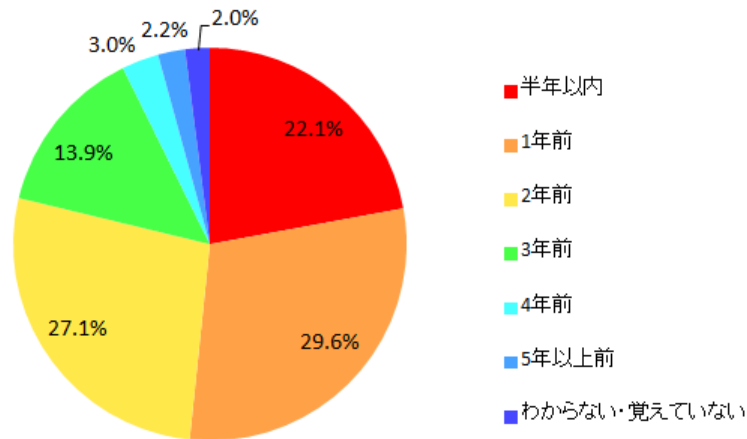
▼2013年8月調査の結果はこちら

→ <http://kakaku.com/research/report/072/>

タブレット端末の購入時期は、2年以内の購入が約8割。反面、新規購入では伸び悩みも

もっとも最近購入したタブレット端末の購入時期は「1年前」が29.6%。次いで、「2年前」の27.1%、「半年以内」の22.1%、という結果に。[昨年調査の結果](#)と比較すると、「半年以内」「1年前」の割合が減り、「2年前」が増えていることや、2年以内の合計が86.7%から78.8%へと減っていることから、新規購入の比率は若干下がっていることがうかがえます。

【 所有しているタブレット端末の購入時期 】



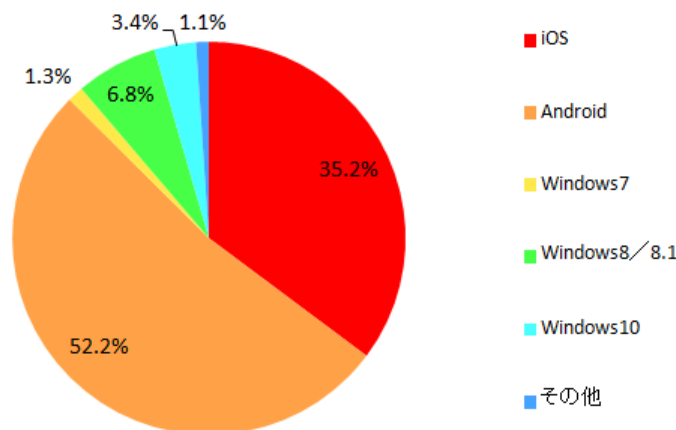
タブレット端末のOSトップは「Android」52.2%、「iOS」は35.2%。

Windows勢は合計11.5%と伸びず。

前回調査と比較するとほぼ横ばいですが、「iOS」と「Android」が少しずつ割合を減らし、Windowsが伸びています。特に、8月にリリースされたばかりの「Windows10」が調査時点（2015年8月27日～9月2日）で3.4%と、一定の割合を占めており、注目すべき結果となっています。

※複数台を所有の場合は、もっともよく使う端末で回答

【所有しているタブレット端末のOS】



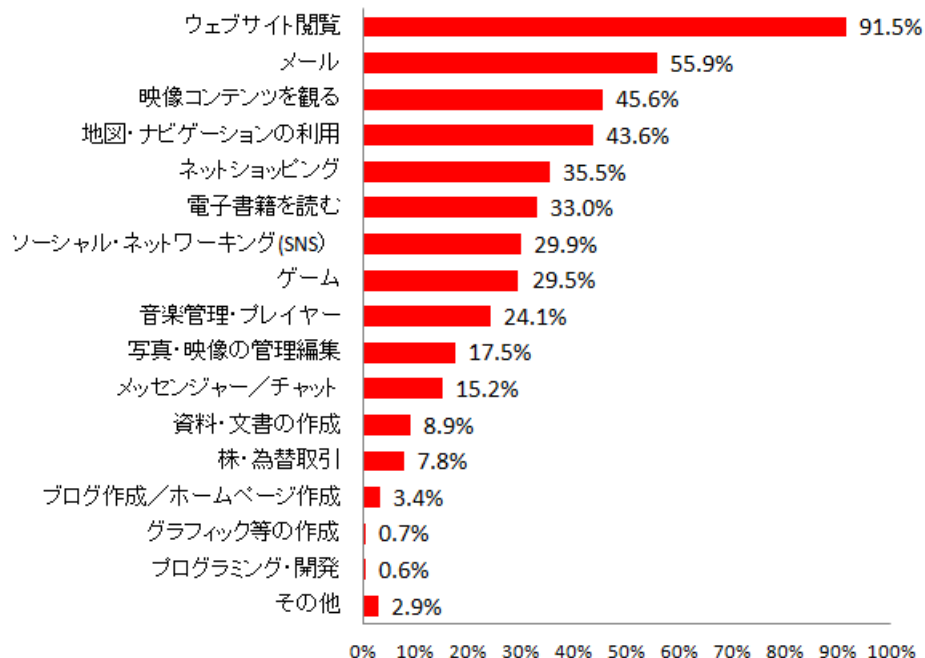
タブレット端末の利用目的は、各項目が軒並み下がるパソコンと同様の結果に。半数近くがカーナビの利用も

パソコン同様にほとんどの項目が軒並み昨年調査を下回る割合となりました。特に、「映像コンテンツを観る（動画鑑賞）」（45.6%）はマイナス 22.3 ポイント、「ソーシャル・ネットワーキング」（29.9%）はマイナス 21.6 ポイント、「ネットショッピング」（35.5%）はマイナス 19 ポイントと、大きく割合を減らしています。

逆にあまり変わらなかったのは「ウェブサイト閲覧」（91.5%）で、パソコンもタブレット端末も、ウェブサイトの閲覧という使われ方がメインになっているという結果に。

また、今回から新たに追加した「地図・ナビゲーション」については、43.6%の人が利用しており、タブレット端末を車のナビ代わりに使っているユーザーもかなりの割合いることが分かりました。

【タブレット端末の使い道（複数回答）】



▼アンケート結果、および過去の調査アーカイブはこちらのページでもご覧いただけます

<http://kakaku.com/research/backnumber.html>

【価格.com サイトデータ】（2015年6月現在）

月間利用者数 4,745 万人、月間ページビュー 8 億 5,199 万 PV、累計クチコミ件数約 1,900 万件

<月間利用者数の内訳> PC：2,501 万人 スマートフォン：2,207 万人 モバイル：36 万人

データの引用・転載時のクレジット表記について

本調査結果の引用・転載の際は、必ずクレジットを明記くださいますようお願い申し上げます。

クレジット表示例

- ・「価格.com」調べ
- ・購買支援サイト「価格.com」が実施した調査によると…